

第1回東久留米市事務事業に関する外部評価会議経過調書

参事	課長	主査	担当	担当			日時	平成29年7月7日(金) 午後3時00分～5時15分
/	/	/	/	/	/	/		
							場所	本庁舎 4階 庁議室
/	/	/	/	/	/	/		

議題	(1) 平成29年度事務事業評価表に対する外部の視点からの評価について (2) その他
----	--

出席者	1 奥 真美	2 平井 文三	3 猪股 良子(欠席)
	4 大山 賢一	5 坂口 志津子	
	事務局		
	1 企画経営室参事(土屋)	2 行政管理課長(道辻)	

1. 開会

【行政管理課長】 それでは第1回外部評価会議を開催させていただく。

まず、本日は猪股委員が欠席であるが、定足数に達しているので会議は成立している。

続いて会議公開の取扱いについてである。会議については、会議公開に関する指針に基づいて、公開が原則である。本日はまだ傍聴人はいらしていないが、いらした場合は入室していただくことでよろしいか。

—委員による承認—

続いて会議録の作成についてである。会議録作成のため、会議の内容を録音させていただく。会議録については要点筆記として、発言者名は委員または事務局と表記させていただく。次回の会議時または事前に委員の皆様へ承認をいただいて、この会議録を正式なものとするのでよろしいか。

—委員による承認—

次に本日の資料を確認させていただく。

—配付資料の確認—

2. 事務事業に関する外部評価会議について

(1) 平成29年度事務事業評価表に対する外部の視点からの評価について

【行政管理課長】 外部評価会議では、東久留米市事務事業に関する外部評価会議設置要綱に基づいて、事務事業評価について外部の視点からの評価、行政評価制度の推進について必要な提言等をいただくことになっている。なお、委員の任期は2年なので、今年度も資料1の委員名簿に記載されている皆様に委員をお願いすることとなる。

—委員・事務局の紹介—

続いて、議事進行者についてである。昨年同様、企画経営室参事が務めさせていただくことでよろしいか。

—委員による承認—

【企画経営室参事】 ご承認が得られたので、以降は私の方で議事進行を行う。

まずは昨年度以降の市の行財政改革に関する取組みについて課長より説明する。

【行政管理課長】 資料2の財政健全経営計画実行プランをご覧いただきたい。こちらについては、昨年度の第2回会議で素案という形で皆様にお示しした。その後、行財政改革推進本部での決定を経て、正式に平成28年8月改訂版の実行プランとなった。前実行プランとの変更点について説明する。

—資料2を説明—

【行政管理課長】 続いて資料3の財政健全経営計画実行プラン関連資料をご覧いただきたい。

—資料3を説明—

【企画経営室参事】ただいまご説明した中で質疑等があればお願いします。

【委員】市立保育園の民間化について。実行プランでいうと47ページ、実行プラン関連資料でいうと4ページになるが、民間化のスケジュールは1年後ろ倒しになるということではよろしいか。

【企画経営室参事】市立保育園の民間化については、28年の8月改訂時にしんかわ保育園の民間化に関する項目を追加しているが、事務処理上の都合で民間化を1年繰り下げざるを得なくなったことから、29年2月に作成した実行プラン関連資料では1年後ろ倒しに変更している。

【委員】施設の老朽化は問題ないのか。

【企画経営室参事】現在も園児が在籍しており、必要な修繕は行っていくので問題ない。

【委員】駅西口昇降施設の有料広告については広告主が決まったのか。

【企画経営室参事】施設の包括的な維持管理委託ができないか鉄道事業者と協議を続けてきたが、鉄道事業者は沿線全体として業務委託をする中で包括的な委託は行っておらず、清掃など個々の業務で委託するため、市の施設を包括的に受けるのは難しいという回答があり断念した。その後、鉄道事業者に広告掲載のノウハウを聞いた上で、改めて広告掲載用のフレームを2個所に設置し募集をかけたところ、広告主から応募があったと聞いている。以前実施した壁面に直接広告を貼る方法だと、企業側からの応募は得にくいようである。

【委員】デジタルサイネージはどこに設置されているのか。

【企画経営室参事】1階の市民課の横にすでに設置されている。

【委員】高齢者への乳酸飲料の配布はどうなったのか。

【企画経営室参事】要綱改正をして、介護サービス受給者については29年度からは新規の配布を受付けないこととし、すでにサービスを受けている人については1年の猶予の後に配布を終了するというところで整理した。

【委員】自治会・商店会の防犯灯・街路灯のLED化はどうなっているか。

【企画経営室参事】市が所有しているものについては全て今年度からLED化している。自治会、商店会が管理している部分は、市の所有ではないが電気代の助成をしている。これらも合わせてLED化を予定しているが、市に所有権を移した後に整備していく予定である。

【委員】公園の照明もLED化する予定はあるのか。

【企画経営室参事】今年度の実行プラン追加項目として実施していく予定である。

—休憩—

【企画経営室参事】外部評価の実施にあたっては、昨年度と同様に東久留米市事務事業に関する外部評価実施要領に基づいて進めていくことになる。あらためて課長から実施要領の説明をする。

—資料4を説明—

【企画経営室参事】平成29年度の東久留米市事務事業に関する外部評価会議のスケジュールについて課長から説明する。

—資料5を説明—

【行政管理課長】事務事業評価、実行プラン、外部評価についてそれぞれのスケジュールについてご説明する。まず事務事業評価であるが、今お示ししている事務事業評価表の内容をさらに精査し、8月9日開催の行財政改革推進本部で決定した後、8月15日に公表を予定している。次に実行プランであるが、事務事業評価表をもとに事務局で新たな改革項目の洗い出しを行っている。その中から対象となりそうなものについて各課へのヒアリングを行い、8月9日の行革本部で決定する予定である。また、下期には実行プランの次期改訂時に掲載予定の個別項目の取りまとめを行う予定である。最後に外部評価については第3回以降の会議で外部評価対象事業についてご議論いただく予定である。第4回、第5回については担当課へのヒアリングを行い、第6回の会議で最終的な評価結果のとりまとめを行う予定である。ここで頂いたご意見を参考に年明け後の行革本部に諮り最終的な決定とした後、2月15日頃の公表を予定している。

【企画経営室参事】今年度のスケジュールは10月、11月に会議が集中しているが宜しくお願ひしたい。

【委員】外部評価対象事業は「業務フローに改善の余地がある」、「制度改正の余地がある」という項目にチェックが付いているものの中から選定されるのか。

【企画経営室参事】それのみを対象とする訳ではない。今後、理事者も交えてそれ以外の事業も含めて対象とする事業を検討するが、その中で委員の皆様から頂いた意見を参考とさせていただきます。

【委員】事務事業評価表を作成する中で、それぞれの所管課長が「業務フローに改善の余地がある」、「制度改正の余地がある」という項目にチェックしているのか。

【企画経営室参事】現在、ヒアリングを実施するなどして評価表の精査中であり、その内容によってはチェックが付く事業が変わる可能性があるが、基本的には所管課の判断としてチェックが付けられている。

【委員】昨年度、事務事業に対する市民の意見を聴取するために、施策成果等アンケートを実施しているとの話があったが今年度も行っているのか。

【企画経営室参事】個々の事務事業というよりは、それが取り纏まった施策レベルでのアンケートであるが、施策成果等アンケートは今年度も実施しており、調査結果がここでまとまったので公表する予定でいる。委員の皆様には後日にお送りする。

【企画経営室参事】資料6の平成29年度事務事業評価表に対する外部の視点からの評価について課長から説明する。

—資料6を説明—

【行政管理課長】次に参考資料をご覧ください。これは、昨年度の事務事業評価表で、「業務フローに改善の余地がある」、または「制度改正の余地がある」にチェックが入った37事業について改善に向けた取組状況を整理したものである。平成28年度末の段階では実施済が15事業、一部実施済が2事業、実施予定が6事業、検討中が9事業となっている。また、今年度の事務事業評価についてもチェックが入っている事業については整理しており、「業務フローに改善の余地がある」、「制度改正の余地がある」の総数は51事業となり昨年度より増加している。

【企画経営室参事】課長からご説明したような視点から、今年度の外部評価に対するご意見はあるか。

【委員】外部評価の対象とする事業数は決まっているのか。

【企画経営室参事】昨年度は基本事業ごとの視点で取りまとめをさせていただいた。今年度はどういったものを対象とするかについてはまだ整理ができていないが、目的に照らした視点も必要だと思っているので、昨年度と似通った抽出になることも想定はしている。

【委員】施策成果アンケート以外に所管課が個別にアンケートを行っている事業があれば、その結果も評価の参考になると思うが。

【企画経営室参事】所管課は各種事業計画などを改訂、作成するタイミングでアンケート調査を実施しており、毎年度継続的に実施していない。そのため、施策成果アンケートを実施する前には所管課が必要とするアンケート項目を事前に調査し、アンケート内容に反映させるようにしている。

【委員】30年度以降の方向性が適正か否かの検証は行っているのか。

【企画経営室参事】現在評価表を全体的に精査中である。そのため、委員から方向性についてご意見があればそれに基づいて訂正することもあり得る。ただ事務事業数が多いのでそれを個別に見ることは難しく、外部評価対象になった事業を中心に見るなどの方法が考えられる。

【委員】施策単位でそれぞれの委員に割り振って、それを構成する事務事業について各委員が精査するという方法もあるかもしれない。

【企画経営室参事】事業ごとの関連性を含めた視点でみるには有用な方法と考えられる。個別の事業を対象とするより全体的な視点で見た方が分かりやすい場合もある。今後の外部評価を考えるうえでの参考としたい。

【委員】活動指標や成果指標の設定の仕方で昨年度との変更点はあるのか。

【企画経営室参事】内部管理事業については成果指標を設けないようにした。また、現在新たな財務会計システムを構築する中で事務事業評価を組み込んでいくことを予定している。それにより予算も事務事業別での表記が可能となり、予算の「見える化」が図られることになる。

【委員】個一63事業「発見 WALK WALK 東久留米」は健康課の事業として整理されるとの認識であったが。

【企画経営室参事】事務局ヒアリングの中でその旨は指摘しており、健康課の事業として引き継ぐ方向での整理を予定している。

【委員】個別事業の位置付けはどうなっているのか。

【企画経営室参事】東久留米市の基本構想が定める施策体系ごとにそれぞれの事務事業が紐づくことになるが、その体系で整理しづらいものが個別事業の扱いとなる。総務的な事業や選挙、監査に関連する事業は個別事業として扱われる。

【委員】10-03の国民健康保険事業は平成30年度から広域化とされているが、何か制度に大きな変更があるということか。

【企画経営室参事】市町村単位で運営している国民健康保険制度を都道府県単位に切替えるという動きがある。現在制度設計中であり、市にとってプラスになるのか否かも見えない状況にある。

【委員】その結果次第では事務事業評価に影響がでるのか。

【企画経営室参事】国民健康保険特別会計は法律に基づいて一般会計から繰出す仕組みがあるが、それ以外に国民健康保険特別会計の赤字分を補てんするために一般会計から繰出すこともある。この赤字繰出しに対する考え方が各自治体で異なる中、都道府県単位で広域化されてどのような結果となるか、不明な点は多い。このことから、国民健康保険に関する事務事業については方向性の記載の中で広域化について触れている。

【企画経営室参事】他にご意見等がなければ、事務事業評価表に対する外部の視点からの評価についての説明は以上とさせていただきます。

(2) その他

【企画経営室参事】最後に次回の日程について課長から説明させていただく。

【行政管理課長】第2回目の外部評価会議についてであるが、7月26日の午前中ということでご案内しているところである。会議時間は2時間程度を予定しているが、26日で差支えなければ10時からの開催ということでよろしいか。

—異議なし—

【企画経営室参事】以上で議題は終了である。これをもって平成29年度第1回東久留米市事務事業に関する外部評価会議を終了させていただく。ありがとうございました。

以上